

## 満開の桜にひと、ひと

～ にかほ市観桜会～



満開の中、各中学校吹奏楽部による演奏も行われた

4月中旬から下旬にかけて「にかほ市観桜会」が開催され、満開の桜を見ようと県内外から多くの観光客が詰めかけました。本市では三崎公園・勢至公園・仁賀保公園・栗山池公園を会場に行われ、桜の前で記念撮影したり、シートを敷いて飲食したりと思い思いに春を満喫する方の姿が見られました。

18日の勢至公園では観桜会イベントが開催され、特設ステージにて、金浦神楽や超神ネイガーショーなどが行われ、桜満開の会場をさらに盛り上げてくれました。

栗山池公園では、5月6日まで観桜会が行われます。

## 白瀬の偉業をしのび

～ 第18回「南極の歴史」講話会～

4月18日、歴代の南極観測隊員で組織する南極OB会主催の第18回「南極の歴史」講話会が行われ、白瀬南極探検隊記念館開館25周年を契機に、今回初めて東京を飛び出し、白瀬の故郷で開催されました。

かつての南極観測隊員や記念館に縁のある4人の方々が講師をつとめられ、白瀬隊の活動記録や南極探検を支えた人物などについて講話されました。

会場は全国各地から駆けつけた南極OB会員の皆さんや地元郷土史研究会の皆さんの熱気で大いに盛り上がり白瀬の偉業をしのびました。



さまざまな角度から白瀬隊を検証



長寿祝状と祝金を贈呈された  
須田キヤさん（前列左から2番目）

4月23日、須田キヤさん（砂山）が100歳の誕生日を迎えられ、にかほ市から長寿祝状と祝金（30万円）が贈呈されました。ご自宅で行われた須田さんのお祝いには、たくさんのご親族が駆けつけ、祝福の言葉や花束が贈られました。

長生きの秘訣を「普通の事を当たり前のようにならざる」と、はっきりとした言葉で話してくれた須田さん。趣味は茶道や水墨画。読書は今でもしているそうです。どうぞこれからもお元気でお過ごしください。

100歳  
長寿

須田 キヤさん

おめでとーございませう

## 災害の備蓄に工夫

～ 粉ミルクなどの備蓄管理協定～



災害等により困難な物資の調達を解決

4月15日、市は象潟庁舎において、災害時に粉ミルクやほ乳ビン・紙おむつなどの物資調達をスムーズにするための粉ミルク等の備蓄管理協定を、市内の9保育園が加盟する「にかほ市保育協議会」と締結しました。

この協定により、市側は、大規模災害等で粉ミルクなどの物資を緊急調達する際に、各保育園に備蓄されている粉ミルクやほ乳ビンなどを利用することが可能となります。また、保育園側は消費と補充を繰り返す「ローリングストック方式」で消費期限切れによる廃棄を防ぎ、無駄のない在庫管理ができるようになりました。

## がんばって帰ってきてね

～ サケ稚魚放流体験学習～

4月10日から16日にかけて、市内6つの小学校でサケの稚魚放流体験学習が行われ、川袋川と奈曾川で約9万匹が放流されました。

13日の稚魚放流には、今年で放流体験が21回目となる上浜小学校全児童の77人が参加。児童を代表して5年生の桜庭暖くんが、「放流する時は、がんばって帰ってきてね。帰ってきた時は、おかえり、がんばったねと声をかけたいです」と発表してくれました。

この日は、地域の方が見守る中、10cmほどの稚魚約2万匹が放流され、大海原へと旅立っていきました。



「がんばれ」の声にこたえるように元気に泳ぐ稚魚

## さあ、勉強も運動も頑張るぞ！

～ にかほ市スポーツ少年団入団式～



団員章を受け取る象潟野球スポ少の新入団員

4月18日、金浦小学校体育館を会場に、平成27年度にかほ市スポーツ少年団入団式が行われ、新団員122人と在団員333人が出席しました。

団員章授与では、新入団員らが各監督から一人ひとり名前を呼ばれ登壇し、チーム代表団員が凛とした表情と姿勢で中津本部長から団員章を受け取りました。新団員の一人、ニカホWin-sFCスポ少・石垣颯一郎くんは「足の速いサッカー選手になるために練習を頑張る」と抱負を語ってくれました。入団を見守った先輩在団員らも、勉強と運動の両立の誓いをあらたにしていました。